

平成 30 年 3 月総務企画委員会 議事概要

H30. 4. 16 作成

日 時：平成 30 年 3 月 20 日（火） 18：05～19:40

会 場：建築士会会議室

出 席：

（業務執行理事兼委員長）芝 京子 （副委員長）山成 芳直

（委 員）伊藤 誠一、長田 喜樹、玉野 直美、沼田 有二、畠 宏好、
村島 正章、八重野みどり

オブザーバー：須藤専務理事

<確 認 事 項>

1 前回(2/20)議事録の確認【資料 1】

- ・異議なく了承

<協 議 事 項>

1 平成 30 年度予算案（重点事業及び各委員会）について【資料 2】

- ・専務より「平成 29 年度決算見込み及び平成 30 年度予算概算見積」と詳細内訳、3 会計別の予算案を説明。

（質疑）

（委員長）・青年委員会の一級受験者向け施設見学会は好評だが、もっと早く開催できないか？

（委員）・学科の合格発表後なので 2 週間しか準備期間がなく困難。

（専務）・一級はスケジュールがタイトであり、難しいと思う。

（委員）・教育講習委員会の見学会計画だが、他委員会・支部との重複は避ける配慮が必要では？ 受け入れ側に迷惑をかけると評判落とす。

（委員）・教育講習のコンクール受賞作見学会は、できる限り多くの現場を見せてもらうのが従来からの方針。手間をかけても参加者の期待に応えるため。

（委員）・ゼネコンとしては、見学が迷惑ということはない。ただ、見学者の安全性確保が至上命題。

（委員）・市の著名施設の担当係長だったころは、見学対応担当係長状態。できれば見学する側にも配慮が望まれるところ。

（委員）・景観整備の委託収入見込みは過大では？

（委員長）・過去には文化庁の近現代建築物調査の委託収入もあり、根拠なしとはいえない。

→特に異議なく、予算案を承認

2 その他

- ・特になし

<報告事項>

1 2/25 セミナー・免許交付式の結果について

- ・委員より、開催実績と現在までの入会状況を説明。

(質疑)

(委員)・昨年の入会実績では、二級勉強会参加者中の合格者への「おめでとうメール」が一番効果があった。

(専務)・今年は 3/22 にお試し会員全員へ入会勧誘文書を郵送する。某資格学校経由の入会の動きは鈍い。

(委員)・合格者のスキルアップのニーズは高いと思う。講習会も受講しやすいよう、休日開催を考えたいところ。

(副委員長)・入会案内活動の感想として、「掲示板」に掲示されている各種講習会の案内はけっこう訴求力があつたように思う。

(委員長)・そもそも若い人の入会動機は何だろうか？

(委員)・自分で言えば一級を取ったあと「今のままではいけない」と強く感じたこと。

(委員)・シンプルな説明でも納得した子がいる。

(委員)・今の若い人は具体的なイメージを示されないと食いつかないよう、訓練されていると思う。

(副委員長)・そうした意味では「入会体験記」は説得力のある材料になる。ただ、士会の活動水準も高くないと「こんな程度か」と、かえって逆効果になるので配慮要。

(委員)・休会者の引き戻しはテーマにならないか？

(専務)・現在は「休会」措置は認めていない。引き戻しは、労多くして功少ない恐れ大。

(委員)・資料末尾の各県の会員数状況だが、四国3県は青年委員会ベースでも強力であり、会員純増もうなずける。

2 その他

- ・特になし

<その他>

次回以降の委員会等について

平成 30 年 3 月 28 日(水) 第 362 回理事会 15:00～

次回以降総務企画委員会 4/18、5/15、6/19、7/17、9/18、10/16、11/20、12/18